

次世代 AI 人材育成事業

国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業（BOOST）

2024 年度 大阪公立大学大学院
在学生対象

学生募集要項

大阪公立大学
博士人材育成支援室

・

大阪公立大学大学院
情報学研究科

2024 年 5 月

1. 事業の目的

大阪公立大学大学院は、博士後期課程の学生を対象とした文部科学省（MEXT）及び国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「次世代研究者挑戦的研究事業」（新 SPRING）に加えて、「次世代 AI 人材育成事業」（BOOST）に採択されました。これにより本学では、より充実した支援を継続して行うこととなります。

BOOST では、将来的に次世代 AI 分野を開拓・牽引していこうという志と能力を持つ学生を支援します。幅広い学問分野からの応募をお待ちしています。

2. 本事業の支援を通じて育成する人材像

本事業は、AI・情報学を活用して自らの専門分野の研究や社会課題を解決することに取り組む大阪公立大学のすべての研究科・専攻科に所属する博士後期課程学生・博士課程学生を対象とします。

応募者には、①「トランスファラブルスキル」を身に付ける意欲、②異分野融合研究を進める発想力や具体的な計画力、③国内外の研究機関と共同研究等を進めるための外国語によるコミュニケーション能力、④社会課題の解決やイノベーション創出に向けた行動力、⑤AI・情報学分野の学修への強い意欲を求めます。

本事業で選抜された学生は、研究費を活用して、AI 分野の国際的 CoE（Center of Excellence）であるドイツ人工知能研究センター（DFKI）で AI・情報学に関する先端の知識・技術やその応用・適用について学習・研究する機会を得ることができます。DFKI での国際的な産学共創イノベーションの体験を通して、「次世代 AI 人材」としての知識や技術を磨いていただきます。

本事業の支援学生には、将来、各専門分野のトップレベルの研究者、あるいは、各業界や産業界でイノベーションを創出して日本の産業競争力の強化に貢献できる人材となることが期待されています。情報学以外を専門とする学生でも、自身の研究を遂行する上で、プログラミング、機械学習・アルゴリズム、データベース、数学・統計等のスキル等を活用できるレベルに達し、AI エンジニアあるいはデータサイエンティストとしての活躍を期待します。

具体的な育成する人材像のイメージは以下 (a) ・ (b) のとおりです。

(a) 学際 AI 人材： AI・情報学分野の知識や技術を駆使して、専門家だけでは発想し得ないイノベーションの実現を目指して、自身の研究テーマの問題や社会課題の解決に向けた取り組みを進められる人材。

(b) 基幹 AI 人材： AI の「核」となる基幹技術に深い理解を有し、新しい発想で新技術を生み出すなど AI 分野の基礎・応用あるいは先駆的領域でリードする研究者を目指して、複数の問題に分野横断的に内在する本質的な課題を発見するなど、AI・情報学分野の研究領域の進化も視野に入れた取り組みを進められる人材。

3. 出願資格

1) 2024年4月時点で大阪公立大学の博士後期課程（3年制）もしくは博士課程（4年制）に在籍し、標準修業年限内に学位を取得する意思のある者。

※ 出願前に、所属の指導教員と必ず相談をしてください。

2) 自らの博士後期課程の研究課題や社会課題等の解決に向けて、自らの専門分野の他、AI・情報学分野の素養を持ち、AI・情報学を活用できる者。または、情報学を主専攻としない学生であってもAI・情報学の知識や技能を専門的あるいは副次的に学修する意欲のある者。

3) 本事業の支援を受けて、将来的に次世代AI分野の研究を本格的に推進・先導することを通じてリーディングサイエンティストとして成長するという強い意志と意欲がある者。

※ 全ての研究科・専攻の学生が対象です。対象学年については、獣医学研究科及び医学研究科は博士課程の2～4年次、その他の研究科の場合は博士後期課程の1～3年次が対象です。

※ 既に「大学フェローシップ創設事業」、「次世代研究者挑戦的研究事業」及び「次世代研究者挑戦的研究事業」（新SPRING）で採択されている方も応募可能です。

※ ただし、以下に該当する者は支援対象外となります。

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）に採択されている者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生
- ・本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ・生活費に係る十分な水準（240万円／年）の奨学金を得ている者
- ・所属する大学や企業等から安定した十分な生活費相当額（240万円／年を基準とする）を受給していると認められる者

【注意事項】

- ・本事業に選抜された学生は、独立行政法人日本学生支援機構の特に優れた業績による奨学金の返還免除対象外となります。
- ・生活費ではなく研究費を支援する事業等の支援を受けていても本事業の支援対象者となりますが、あらかじめ支援実施事業者に本事業との重複が可能か確認することが必要です。

4. 支援内容

本事業に選抜された学生に対しては、以下の支援を行います。

研究奨励費（生活費相当額）及び研究費として年間 390 万円

- ※ 研究奨励費は、課税所得として扱われて課税対象となります。各自で申告・納税を行う必要があります。
- ※ 研究費は、選抜された学生が自らの研究に必要な設備・備品・消耗品の購入、海外渡航・国内出張（資料収集、各種調査、打ち合わせ、研究開発、成果発表など）のための旅費（交通費、宿泊費、日当）などに使用できます。ただし、経費の執行にあたっては、本学教員と同様に大学の経理手続の処理が必要となります。
- ※ 本年度の配分額は、研究奨励費：300 万円、研究費：90 万円を予定していますが、事業開始までに変更となる可能性があります。また、選抜された学生は、経費の使用計画書を提出し、大学の承認を受ける必要があります。なお、390 万円の一部または残金を翌年度に繰越することはできません。

5. 支援期間・支援対象の条件

支援期間：採択後から標準修業年限まで

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
博士後期課程 3 年 (医・獣)博士課程 4 年	採択 →			
博士後期課程 2 年 (医・獣)博士課程 3 年	採択 →			
博士後期課程 1 年 (医・獣)博士課程 2 年	採択 →			

支援対象の条件：

- ※ 休学・除籍・退学の場合は、支援の打ち切りとなります。復学後の支援はありません。支援期間中に休学・除籍・退学となった場合は、支援が打ち切りとなるだけでなく、その事由によっては、使用した支援金自体も返還していただく可能性がありますのでご注意ください。
- ※ 翌年度に日本学術振興会の特別研究員に採択された場合は、本事業は辞退の扱いとなり、本事業の重複時給はできません。

6. 選抜された学生の責務

選抜された学生は、以下の 1) への参画が必須となります。新 SPRING 事業と連動していることから、以下 2) の参画も推奨します。

1) 必須事項（予定）

- 本事業が実施するオリエンテーション・ワークショップへの参加
- ドイツ人工知能研究センターでの研修（使用言語：英語）
 - ※ 支給する研究費を活用していただきます。
- 本事業に関連する行事への参加、インタビュー取材への協力
- 国内外の学会等で何らかの業績の発表（自身の研究に AI・情報学の要素を加味した研究成果とすること。情報系学会が望ましいがそれ以外でもよい）
- 支援終了後の進路調査への協力

(参考)DFKI への派遣プログラムの例：

- 1) 選抜学生は、事前に情報学研究科の教員や DFKI のスタッフから説明を受けて、渡航前の準備を行う。選抜学生は事前に DFKI の教員やスタッフとの交流機会にも参加する(オンラインの場合もある)。その上で DFKI の研修をどのように活用できるかについて目標等を明確に設定する。
- 2) 渡航先の DFKI では、国際的な産学共創環境で、自ら研究課題の推進やイノベーション創出に向けた AI・情報学の活用方法を学ぶ。派遣期間中は、派遣された学生間でのグループワークなどにも参加し、チームで学ぶ。
- 3) 滞在中の生活面等での悩み事は、現地スタッフの協力者の他、本事業チームメンバーやメンター教員などにオンラインで相談できる。
- 4) 研修前後から博士論文をまとめるまでの期間も、本事業の運営委員や受入教員などから適宜適切な指導やアドバイスを受けることができる。

2) 参画を推奨する事項（予定）

- 新 SPRING が主催するイベント・報告会等への参加（推奨）

(参考)新 SPRING 事業との連動：

- 1) 新 SPRING 事業では、インターンシップ、国内留学支援、トランスファラブルスキル修得のための異分野研究交流会、キャリアパスの開発のためのキャリアデザイン支援やインタラクティブマッチングなどの各種交流機会がある。これらを活用し、自身の研究に新規アイデアの着想や異分野融合分野の新規可能性を踏まえ、研究促進と課題解決に向けた幅広い手法を身に付ける。

7. 募集人員

1～4名程度

8. スケジュール

1) 出願期間：

2024年5月25日（土）23:59までに「申請フォームへの入力」と「申請書の提出」の両方が必要となります。

2) 書類審査・面接審査：

応募者多数の場合は、書類審査を経て、面接審査に進むことができる対象者を絞り込む場合があります。ご了承ください。

面接の日時は、2024年5月31日（金）から6月3日（月）頃までに申請フォームに登録した電子メールアドレス宛に通知します。電話等による合否の照会には応じません。

3) 面接実施期間：

2024年6月6日（木）～6月13日（木）のうち指定時間（20分程度）
オンラインで実施します。

上記期間内で面接審査を受けることができない時間帯がある場合は、申請フォームの所定欄に理由を添えて面接を受けられない時間帯を明記してください。後日、理由を証明する文書等の提出を求める場合があります。ただしこれによって特定の時間帯以外での面接を確約するものではありません。

4) 合格発表：

2024年6月21日（金）頃を予定しています。面接受験者には合否の連絡を申請フォームに記載の電子メールアドレス宛に通知します。電話等による合否の照会には応じません。

9. 出願方法

1) 申請フォームへの入力：

「次世代A I 人材育成事業 申請フォーム」にアクセスして必要事項を入力ください。<https://forms.office.com/r/J1nXwmcg3c>

※ 入力（送信）期限：2024年5月25日（土）23:59まで

※ 申請フォームでは、面接審査の日程調整と英語による面接を希望する場合などの調査を行いますので、必ず回答してください。

2) 申請書の提出：

本事業の案内を掲載している Web サイトの（様式 1）「申請書」（Word ファイル）をダウンロードし、書類を作成の上、Word ファイル及び PDF ファイルの 2 点を以下のメールアドレスに送付してください。

※ ファイル送信期限：2024 年 5 月 25 日（土）23:59 まで

※ ファイル送信先：gr-i-boost@omu.ac.jp

※ 申請書のフォーマットは日本語版と英語版のどちらを使用しても構いません。

※ 提出時のファイル名を「学籍番号_研究科名_氏名」としてください。

※ 申請書の Word ファイルの右上に「写真貼付欄」がありますので、頭から肩までが映った正面の顔写真を用意し、jpg または png 形式等のデータを枠内に貼り付けてください。画像が粗いもの、枠内に貼り付けていないもの、縦横比を変更したものの、画像ソフトで加工・修正した内容は認められません。

3) 注意点：

- ・ 出願書類に不備のあるものは受理できないことがあります。
- ・ 出願時に提出された書類は返却しません。
- ・ 出願手続後は書類の変更は認めません。
- ・ 入力事項や提出書類の記載事項が事実と相違している事が明らかとなった場合には、本事業への参加資格を取り消す場合があります。
- ・ 書類に記載の個人情報を審査の目的以外には使用することはありません。

10. 選抜方法

1) 試験内容

審査	配点	概要等
書類審査	100 点	（様式 1）の申請書の項目に従って、現在、取り組んでいる研究課題の概要をわかりやすく説明すると共に、その上で AI・情報学分野を活用してどのように研究を展開し、将来どのようなキャリアを実現するのかについて具体的に説明すること。
面接審査	100 点	面接はオンラインで実施します。PC やネットワークの環境は応募者本人が整えてください。冒頭 7 分程度で小論文の内容をプレゼンテーション(PowerPoint 等使用可)、その後 13 分程度の質疑応答を行います。

2) 判定方法

書類審査と面接審査の 200 点満点で評価します。採点は P.8 に掲載の「次世代 A 人材育成事業 ルーブリック評価表」の項目内容に沿って実施されます。

11. 問い合わせ先

本事業について質問がある場合は、学籍番号・研究科名・氏名を記載の上、以下のメールアドレスあてに連絡をしてください。平日の夜間及び土日祝日は応答できません。内容によっては回答までに時間がかかる場合がありますので、予めご了承ください。

なお、電話での問い合わせは応じられませんのでご注意ください。

大阪公立大学大学院 情報学研究科 支援事務室

メール：gr-i-boost@omu.ac.jp

次世代 AI 人材育成事業 ルーブリック評価表

評価項目		評価外・ 評価不可	標準を大きく 下回る	標準以下	標準	標準以上	標準を大きく 上回る
		0点	1点	2点	3点	4点	5点
1	トランスファラブルスキルの重要性を理解し、身に付けようとする意欲がある。	まったくない	あまりない	理解しているが、 具体性に欠ける	よく理解し、説明 できている	よく考えており具 体的な計画を立て ている	具体的に考えて おり、計画に基づ き着手／行動でき ている
2	課程修了後のキャリアパスを意識し、社会でどのような活躍・貢献したいかを考えている	まったくない	あまりない	考えているが、具 体性に欠ける	考えており、説明 できている	よく考えており具 体的な計画を立て ている	具体的に考えて おり、計画に基づ き着手／行動でき ている
3	自身の研究以外の分野への関心と、それを理解し取り込もうとする強い意欲がある	まったくない	あまりない	考えているが、具 体性に欠ける	意欲があり、説明 できている	強い意欲があり、 具体的な計画を 立てている	強い意欲・意思が あり、具体的な計 画に基づき着手 ／行動できている
4	現代社会の課題解決・先導的研究領域の創出・未来社会の創出と自身の研究の関係が理解できている	まったくない	あまりない	理解や意欲はあ るが、具体性に欠 ける	理解や意欲があ り、説明できている	よく理解し、意欲 もあり、具体的な 計画を考えている	強い意欲・意思が あり、具体的な計 画に基づき着手 ／行動できている
5	AI・情報学分野の知識や技能を獲得するため計画があり、自身の研究に AI・情報学を組み合わせて飛躍的に発展できる可能性を研究計画に取り入れている。	まったくない	あまりない	理解や意欲はあ るが、具体性に欠 ける	理解や意欲があ り、説明できている	よく理解し、意欲 もあり、具体的な 計画を考えている	強い意欲・意思が あり、具体的な計 画に基づき着手 ／行動できている

※ 本事業では、選抜された学生の支給される研究費を活用して、ドイツ人工知能研究センター (DFKI) の研究渡航を予定していますので、自身の研究計画に DFKI の研修を取り入れた計画を検討してください。なお、DFKI 以外に個人で計画する国内外の研究機関の研修も申請可能です。

(様式 1)

申請書

フリガナ			写真貼付欄
氏名			
所属	研究科		
	専攻		
	学年		
指導教員氏名			
博士論文の研究題目			
研究キーワード (5個程度)	・ ・ ・ ・ ・		

主要な論文等 (上位 5 編まで)

分類	論文名 (書名、件名等)	発表機関 (学会名、出版社等)	発表 年月	著者名

※分類には、「査読論文」、「論文」、「学会報告」、「学会ポスター発表」などと記載すること。学会発表等の受賞した論文の場合は受賞名を「発表年月」の欄の後に追記すること。

次ページ以降に、下記の要項に従って記載してください。

1. 申請書はフォーマットを使用してください。改編しないでください。
2. 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。
3. 説明には補足的に図・表・グラフなどを使用してください。ただし、(様式 1)のフォーマットとして本ページを含めて **8 ページ以内**。本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。
4. 各設問の最後括弧内に文字数を記載してください。(本様式は 1 行で 45 文字程度です。校閲の文字カウントを使用して文字数をカウントすること)
5. 以下の 1-1)~6)までの **7 項目**の内容について記載ください。
なお、5)以外の項目は新 **SPRING** 事業と同様の内容です。

1-1) 自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性(先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)を簡潔、かつ、わかりやすく記述してください。

1-2) そのうえで、学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。

2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。

3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、またそれを自身の研究にどのように取り入れようとしているかを記述してください。

4) 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル(※)を身に付けようと考えているか、また、その理由と方法について記述してください。

(※ 本事業におけるトランスファラブルスキル：イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、データ分析力、プレゼンテーション力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル)

5) 自身の研究に AI・情報学を組み合わせるてどのように研究を進めようとしているのか、それによりどのようなことが実現できる見込みなのかについて計画を記述してください。

(本募集要項 P.1 の「2. 本事業の支援を通じて育成する人材像」及び P.4 の「6. 選ばれた学生の責務」を参考にしてください。)

6) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。

1-1) 申請者自身の研究について、研究目的、研究方法、研究内容、研究の特色・独創性（先行研究等との比較、研究完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）を簡潔、且つ、わかりやすく記述してください。（1800文字程度）なお、図表を用いる場合は、最終ページに1枚以内でまとめてください。

（文字数：）

1-2) 学位を取得するまでに、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述してください。
(800 文字程度)

(文字数：)

2) 自身の研究が、(1)社会課題の解決、(2)先導的研究領域の創生、(3)未来社会の創出のいずれか、もしくは複数とどのように結びつくと考えているのか、具体的に記述してください。
(800 文字程度)

(文字数：)

3) 自身の研究分野以外のどのような分野に関心があるか、またそれを自身の研究にどのように取り入れようとしているかを記述してください。(500 字程度)

(文字数：)

4) 本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキルを身に付けようと考えているか。また、その理由と方法について記述してください。(500 文字程度)

(文字数：)

5) 自身の研究に AI・情報学を組み合わせでどのように研究を進めようとしているのか、それによりどのようなことが実現できる見込みなのかについて計画を記述してください。(1800 文字程度)

(文字数：)

- 6) 博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述してください。(500文字程度)

(文字数：)

上記の説明の補足するために図表を用いる場合は、（1枚以内）に分かりやすくレイアウトの上、貼り付けてください。